

File
07

介護職の“ヘルパー”として 自身の力を活かしたい



サービススタッフ
川下秀明さん
(かわしも・ひであき)

施設概要

株式会社アズパートナーズ
介護付きホーム アズハイム東浦和

〒336-0926
さいたま市緑区東浦和2-22-3
TEL: 048-876-5880
URL: <https://www.as-heim.com>

撮影 / 下山展弘

前 職では、カーステレオの設計などに携わっており、機械をいじるなどの作業を得意としていました。早期退職後もまだまだ働けると思い、再就職先を探していたのと相前後して、母親に介護が必要になりました。設計の仕事はなかなかないこと、母親の介護にかかわるようになったことなどもあり、介護現場へも視線を向けるようになり、あるデイサービスでドライバーとして働くことになりました。ところが、ドライバーの時間は朝夕が忙しく、昼間の時間が空いてしまうため、物足りなさを覚えていた折、当ホームではドライバー業務以外にもいろいろできると知り、2011年、55歳の時にサービススタッフとして入職しました。

サービススタッフは、ケアスタッフ(介護職)が行う身体介護以外の周辺業務を担います。私は週4日勤務しており、ドライバーのほかに、掃除やリネン交換、機械類などの修繕を行っています。最近では買い物代行業務が増え、ネットショッピングをはじめ、直接店舗に買い物に行くこともあります。

一般的にイメージされる「介護」の仕事ではありませんが、ケアスタッフの方から「これを修繕できないか」などと相談されると、やりがいを感じます。介護以外の業務を私がやることで、ケアスタッフが本来業務に集中できる。ケアスタッフの“ヘルパー”という感覚をもって、日々業務に当たっています。また、ご入居者と話をしたり、ちょっとした修理などをすることで、介護を知らなくても介護現場で自分が役立っていることを実感できる場面が多くあります。これは、ほかのシニア層の方にも言えることだと思います。リネン交換などは案外身体も使うので、事務作業よりは身体を動かしたい、という方には向いているのではないのでしょうか。

その一方で、介護現場に入って気づいたことは、段取りやマニュアル整備がほかの業界と比べて遅れていることです。各人が専門職として持っている知識・技術をアウトプットして広めていくことも必要かもしれませんね。

働くことで社会との接点も増えるので、まだまだ働きたいと思います。今後は、福祉用具について学び、自分が得意としている修繕のスキルを磨いて、車いすなどのメンテナンスなども行っていきたいです。



介護付きホーム アズハイム東浦和
ホーム長

小泉文公さん

**「働く姿勢が
若手スタッフの良い見本に」**

サービススタッフとしてドライバー業務から、ご入居者との話し相手まで幅広く業務を行っていただいています。サービススタッフの人員配置表を作成するなど、リーダー的役割も担っていただいていますし、機械類が壊れた場合は、まずは川下さんに聞いてからというスタンスが職場内で生まれているほど、頼りになる存在です。

また、まじめな態度や、俯瞰的な物事の見方、ご家族の介護経験を踏まえたお客様視点での指摘など、川下さんの働き方は特に若いスタッフの見本となっており、今後も活躍を期待しています。